

第41回全日本バトントワリング選手権関東支部大会

実 施 要 項



開催日 2016年2月13日(土)・14日(日)

会 場 さいたま市記念総合体育館

主 催 日本バトン協会関東支部

目 次

大会概要.....	P 2
全日本選手権予選の部.....	P 3～11
関東オープンの部.....	P 12～19
各種申し込みについて.....	P 20～21
エントリーと支部別出場割り当て表.....	P 22～23
郵便局払込取扱票.....	P 24

大会概要

【大会名称】第41回全日本バトントワリング選手権関東支部大会

【日時】2016年2月13日(土) 11:00～19:30 (予定)

全日本選手権予選の部 準々決勝・準決勝

関東オープンの部 (フリースタイル個人・フリースタイルペア・フリースタイルチーム)

2016年2月14日(日) 9:00～18:30 (予定)

全日本選手権予選の部 準決勝・決勝

関東オープンの部 (コンパルソリー・ショートプログラム)

【会場】さいたま市記念総合体育館 〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場4-3-1

【主催】日本バトン協会関東支部

【大会事務局】〒124-0024 東京都葛飾区新小岩 1-42-11 中屋ビル 304 号室

TEL/FAX 03-5879-6466 日本バトン協会関東支部

【後援】埼玉県・埼玉県教育委員会・(公財)埼玉県体育協会・さいたま市・(公財)さいたま市体育協会

(予定) NHK さいたま放送局・株式会社テレビ埼玉・株式会社FM NACK5・株式会社埼玉新聞社

一般社団法人日本バトン協会

【主旨】本大会は、競技バトンの普及発展及び資質の向上をはかり、スポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とし、その活動を通して青少年の健全育成と豊かな人間形成に貢献する精神のもとに行われる。全日本選手権予選の部は、「第41回全日本バトントワリング選手権大会」の関東予選として開催され、種目はソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ダンストワール・ソロストラット・ペアの6種目を実施する。また、関東オープンの部として、コンパルソリー・ショートプログラム・フリースタイル(個人・ペア・チーム)を実施する。

- JR 京浜東北線「浦和」駅
国際興業バス②乗り場より「桜区役所」行き乗車
→桜区役所下車 徒歩1分
- JR 埼京線「中浦和」駅
国際興業バス乗り場より「桜区役所」行き乗車
→桜区役所下車 徒歩1分

全日本選手権予選の部

1. 出場資格

- (1) 参加者は、2015 年 11 月 27 日(金)現在、一般社団法人日本バトン協会に 2015 年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) 参加者は、参加申込書を期日 2015 年 11 月 27 日(金)必着にて事務局に送ること。
- (3) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、2015 年 11 月 27 日(金)までに振り込むこと。
- (4) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会 2015 年度ワッペンを着装すること。
- (5) 一選手の出場は 2 種目までとする。

2. 種目・部門に関する規定

- ① ソロトワール
- ② トゥーバトン
- ③ スリーバトン
- ④ ダンストワール
- ⑤ ソロストラット
- ⑥ ペア

3. 準々決勝・準決勝・決勝に関する規定

- (1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

4. 演技順に関する規定

- (1) 大会実行委員会にて抽選により決定する。
- (2) 準決勝・決勝進出者の演技順はセット番号の早い順を基本とする。

5. 審査に関する規定

- (1) 審査員長、審査員の人数及び役割は次の通りとする。

- ① 審査員長は審査の円滑な遂行を総括する。
- ② 審査員は準々決勝・準決勝・決勝共に 5 名とする。
- ③ ペナルティ審査員は 1 名、ソロストラットは 2 名とする。

- (2) 成績は次の通りとする。

- ① 準々・準決勝は各審査員の得点から (10 点法小数点第 2 位まで)ペナルティ審査員の減点を差し引き、席次点を上下カットし集計したものとする。
- ② 複数コートで行う準々決勝においては各審査員の得点を上下カットし集計したものとし、準決勝進出最終順位が同点の場合は、全員が準決勝に進出する。
- ③ 決勝は各審査員の得点から (10 点法小数点第 2 位まで)ペナルティ審査員の減点を差し引き、席次を上下カットし集計したものとする。

※審査方法は全日本選手権の審査方法で行う。

6 種目の審査は部門にかかわらず下記の 5 つのレベルで評価

フェア [0.0～2.9]

基本的なトフリングとボディワークの習得レベル

アベレージ [3.0～4.9]

基本から展開が見られるレベル

グッド [5.0～6.9]

3 モードでの展開が見られ、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

エクセレント [7.0～8.9]

正確で、質の高いトフリングとボディワークに、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

スペリア [9.0～10.0]

すべてにおいてバランスがとれ、リスクの高さ・質・難易度共に最高のレベル

6. 順位に関する規定

(1) 複数コートにおいての準決勝進出者は得点の高い順とする。

(2) 決勝進出者は 8 位までを基本とする。

席次同点が出た場合は同位者のみ全審査員の席次合計を行い、決勝進出者を決定する。

席次合計同点が出た場合は得点を上下カットしたものを集計、更に同点が出た場合は全審査員の得点の合計を行い、決勝進出者を決定する。

尚、決勝進出最終順位が同点、同席次の場合は全員が決勝に進出する。

(3) 各部門共決勝の成績により 8 位まで順位を決定する。尚、同位者が出た場合は次の手順に従って順位を決定する。

① 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の席次点合計

② 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の点数を上下カットした合計

③ 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の点数合計

④ ①②③の方法によっても尚、同点同次席になった場合は同位とし、次位を空位とする。

⑤ 決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。

7. 表彰に関する規定

(1) 原則として各部門共 8 位までを入賞とし、賞状及び副賞を授与する。

8. 推薦に関する規定

(1) 本大会の上位者を関東支部より全日本バトントワーリング選手権大会に推薦する。

(2) 全日本バトントワーリング選手権大会推薦の最終順位が、同点・同席次の場合は、再演技にて推薦者を決定する。

全日本バトントワーリング選手権大会への推薦者の手続き

7 日以内に団体毎に全日本選手権大会の実施要項に従い「第 41 回全日本バトントワーリング選手権大会事務局」へ申し込むこと。

ソロトワール

1. 部門は次の通りとする

- | | |
|----------------------------|------------------------------------|
| (1) 女子小学校低学年部門 (小学1～3年) | (2) 女子小学校高学年部門 (小学4～6年) |
| (3) 女子中学校部門 (中学生) | (4) 女子高等学校部門 (高等学校生) |
| (5) 女子大学部門 (短大・大学院含む) | (6) 女子一般部門 (未就学を除く(1)～(5)に含まれない女子) |
| (7) 男子ジュニア部門 (未就学を除く中学生以下) | (8) 男子シニア部門 (中学卒業生以上) |

※女子大学部門に、専門学校は含まない。

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン1本
- (3) 演技スペース … 横7m×縦7mの広さを目安とする。
- (4) 課題曲 (時間) … Solo Special (約1分45秒)
- (5) 演技内容 … 1本のバトンを使って技術を競う。

ルーティーン構成

- ① イン트로ダクション (オープニング サリュートは自由)
- ② 3モード エアリアル [バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]
 ロール [バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]
 コンタクト マテリアル [バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]

- ③ エンディング (エンディング サリュートは自由)

以上の組み合わせでルーティーンを構成する。

※フロアワークは組み入れない方が望ましい。

3. 審査内容

(1) 内容

① バラエティー

・ 3モードのバランス／両手使い／ルーティーン構成

② ディフィカルティー

・ バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、 コネクション

③ 実施

ア) テクニック

・ バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／ ボディワークの熟練度・質／
リズム・タイミングのコントロール

イ) パフォーマンス&エクスプレッション

・ プロジェクション (意気込み) /ダイナミックさ／持続性 (忍耐力とスタミナ) / 自信のある演技
／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感

ウ) スピード

・ バトンの回転だけでなく、全体 (3モード) を通しての一貫したスピード／ スピードコントロール

④ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

ア) ドロップ 1本につき0.1点減点

イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点

ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

1. 部門は次の通りとする

- (1) 小学校部門 (小学生)
- (2) 中学校部門 (中学生)
- (3) 高等学校部門 (高等学校生)
- (4) 大学・一般部門 (未就学を除く (1) ~ (3) に含まれない者)

※ 性別区分は行わない

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1 名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン 2 本
- (3) 演技スペース … 横 7 m × 縦 7 m の広さを目安とする
- (4) 課題曲 (時間) … Two Baton・Three Baton & Pair Special (約 1 分 3 0 秒)
- (5) 演技内容 … 2 本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン内容

- ① コンタクト マテリアル (2 本のバトンを身体の近くで行うトワール)
- ② ロール (両手を使ったロール。又は空中で 1 本のバトンが高く、もう 1 本がロールの組み合わせ)
- ③ ハイ ロー (空中で 1 本のバトンが高く、もう 1 本が低いエアーリアル。又は 1 本が高くもう 1 本はコンタクトマテリアル等の組み合わせ)
- ④ ダブル トス トリック (2 本同時に空中ヘトス)
- ⑤ ジャグル (片手で連続的なリリースとキャッチ。例: 片手で 2 本のバトンを交互にトス)
- ⑥ シャワー (両手で連続的なリリースとキャッチ。例: 1 本のバトン进行トスしている間にもう 1 本をパスして最初のバトン进行キャッチ)
- ⑦ コンプレックス トリック (複雑なトリック・リリース・レセプション)

3. 審査内容

(1) 内容

- ① バラエティー
 - ・コンタクト マテリアル / ロール / ハイ ロー / ダブル トス トリック / ジャグル / シャワー / コンプレックス トリック
- ② ディフィカルティー
 - ・バトンとボディの困難度 / リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

(2) 実施

- ① テクニック
 - ・バトンの正確さ / ボディワークの正確さ / トゥーバトンの熟練度・質 / ボディワークの熟練度・質 / リズム・タイミングのコントロール
- ② パフォーマンス&エクスプレッション
 - ・プロジェクション (意気込み) / ダイナミックさ / 持続性 (忍耐力とスタミナ) / 自信のある演技 / リカバリー能力 / 観客や審査員に対しての一体感
- ③ スピード
 - ・バトンの回転だけでなく全体を通しての一貫したスピード / スピードコントロール

(3) ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ① ドロップ 1 本につき 0.1 点減点
- ② 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点 全転倒 1 回につき 0.2 点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計 3 2 拍を超えた場合 0.2 点減点 (サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

スリーバトン

1. 部門は次の通りとする

- (1) 小学校部門 (小学生)
- (2) 中学校部門 (中学生)
- (3) 高等学校部門 (高等学校生)
- (4) 大学・一般部門 (未就学を除く (1) ~ (3) に含まれない者)

※ 性別区分は行わない

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1 名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン 3 本
- (3) 演技スペース … 横 7 m × 縦 7 m の広さを目安とする
- (4) 課題曲 (時間) … Two Baton・Three Baton & Pair Special (約 1 分 30 秒)
- (5) 演技内容 … 3 本のバトンを使って技術を競う
7 種類のシーケンス
 - ① カスケード (左右交互に行われるリリースとキャッチ)
 - ② シャワー (両手による継続的なリリースとキャッチ)
 - ③ ジャグル (片手による継続的なリリースとキャッチ)
 - ④ ダブルトスーシングルトス
(2 本同時に空中ヘトスし、それとコーディネーションして 残りもう 1 本を続いてトスする)
 - ⑤ ハイ ロー (高いエーリアルの下でトゥーバトンの技を行うこと)
 - ⑥ スタックス (高いエーリアルの下に低いエーリアルを投げあげ、その下でコンタクト マテリアルを行う)
 - ⑦ トリプルトス (3 本のバトンが同時に空中にある状態のこと)

3. 審査内容

(1) 内容

- ① バラエティー
 - ・シーケンスの広がりと変化、それらのミックス/両手使い/コンタクト マテリアル、ロール/パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
- ② ディフィカルティー
 - ・密度/リリース、レセプションの困難度/リスク/エーリアル

(2) 実施

- ① テクニック
 - ・バトンの精密さ、安定度/コレクション/リズム、タイミングのコントロール/バトンとボディのブレンド及びスピード/フォロースルー、パターンチェンジ、レボリューションの正確さ
- ② パフォーマンス&エクспレッション
 - ・エンターテインメント性/持続力&スタミナ/自信のある演技/リカバリー能力
- ③ デマンド
 - ・継続性/同時責任性/ビジュアルトラッキング/空間構成能力

(3) ペナルティ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ① ドロップ 1 本につき 0.1 点減点
- ② 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点 全転倒 1 回につき 0.2 点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

1. 部門は次の通りとする

- (1) 小学校部門 (小学生)
- (2) 中学校部門 (中学生)
- (3) 高等学校部門 (高等学校生)
- (4) 大学・一般部門 (未就学を除く (1) ~ (3) に含まれない者)

※ 性別区分は行わない

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 2名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン 2本 (各 1本)
- (3) 演技スペース … 横 8m × 縦 8m の広さを目安とする
- (4) 課題曲 (時間) … Two Baton・Three Baton & P a i r S p e c i a l (約 1分 30秒)
- (5) 演技内容 … 二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う

ルーティーン構成

- ① ソロトワールと同様であるが、エクスチェンジなどペア要素を重視したもので構成する

※ 二人がソロトワールの同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある

3. 審査内容

(1) 内容

- ① バラエティー

・ 3モードのバランス/エクスチェンジ/ペアワーク/フロアパターン

- ② ディフィカルティー

・ バトンとボディワークの困難度/シンクロナイズーションの困難度/ コーディネーションの困難度

(2) 実施

- ① テクニック

・ バトンの正確さ/ボディワークの正確さ/バトンの熟練度・質/ ボディワークの熟練度・質/
ペアのコントロール/リズム・タイミングのコントロール

- ② パフォーマンス&エクスプレッション

・ ペアとしての責任/プロジェクション (意気込み) /持続性 (忍耐力とスタミナ) / 自信のある演技/
リカバリー能力

- ③ スピード

・ バトンの回転だけでなく一貫したスピード/二人の統一したスピード

(3) ペナルティ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ① ドロップ 1本につき 0.1点減点

- ② 転倒 部分転倒 1回につき 0.1点減点 全転倒 1回につき 0.2点減点

- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計 32拍を超えた場合 0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

ソロストラット

1. 部門は次の通りとする

- | | |
|--------------------|--|
| (1) 小学校部門 (小学生) | (2) 中学校部門 (中学生) |
| (3) 高等学校部門 (高等学校生) | (4) 大学・一般部門 (未就学を除く (1) ~ (3) に含まれない者) |

※ 性別区分は行わない

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 …… 1 名
- (2) 演技に使用するバトン …… レギュラーバトン 1 本
- (3) 演技スペース …… 横 15 m × 縦 10 m の広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲 (時間) …… 栄光へのマーチ (約 1 分 30 秒)
- (5) 演技内容 …… マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

ルーティーン構成

- ① イン트로ダクション 8 拍
- ② ミリタリーストラット 32 拍
- ③ プレゼンテーション 32 拍
- ④ フォワードモーション 100 拍
- ⑤ エンディング 12 拍

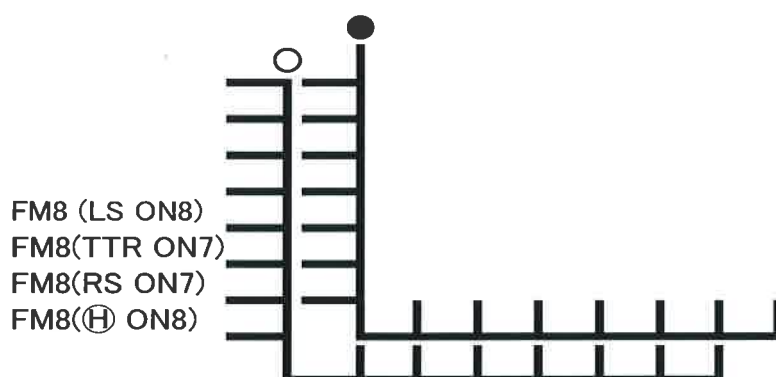
構成内容

I. イン트로ダクション

- 振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作 (アテンション・サリュート等)

II. ミリタリーストラット (ダブルL字ストラット)

- 足の動き …… 審査員に向かってベーシックストラット (腿は、床と平行になる) で 8 拍前進、8 歩目 (右足) を踏み出すと同時に右足を軸にして左に 90 度方向変換、新方向へ左足より 7 拍前進、7 歩目 (左足) を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで 180 度方向変換、右足より 8 拍前進、8 歩目 (左足) を踏み出すと同時に左足を軸にして右に 90 度方向変換、審査員を後ろにし、8 拍前進、9 歩目で右足を左足に揃える



- 右手はビートタイム (拍子をとる) [指揮杖でバンドを指揮するような動作]
- 左手は、指を揃えて左腰におく
- 足は、ベーシックストラット
- 背中是一直正面 (進行方向) を向く 顔は引き締める

III. プレゼンテーション

(1) 自由に表現できるセクション

IV. フォワードモーション

(2) ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション

V. エンディング

(3) 全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション。

3. 審査内容

(1) 内容

① イントロダクション

- ・ミリタリー ストラット
- ・ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット

② プレゼンテーション・エンディング

- ・バトンとボディのバラエティー／ディフィカルティー／オリジナリティー

③ フォワードモーション

- ・バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

(2) 実施

① テクニック

- ・バトンとボディの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／リズムのとり方／ボディコントロール

② パフォーマンス&エクスプレッション

- ・パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力

③ アウトオブステップ

- ・フォワードモーションにおける足踏みの誤りを指し、奇数は左足、偶数は右足でステップする。
両足は1拍までとする。

例：ダブルイリュージョンはステップを踏み変える事

(3) ペナルティ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

① ドロップ 1本につき0.1点減点

② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点

③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点 (サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

④ アウトオブステップ 1～4拍 レ 0.1点減点

5拍以上は4拍毎に減点が加算される

ダンストワール

1. 部門は次の通りとする

- (1) 小学校部門 (小学生)
- (2) 中学校部門 (中学生)
- (3) 高等学校部門 (高等学校生)
- (4) 大学・一般部門 (未就学を除く (1) ~ (3) に含まれない者)

※ 性別区分は行わない

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1 名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン 1 本
- (3) 演技スペース … 横 15 m × 縦 10 m の広さを目安とするが、会場によっては若干 狭くなる場合もある
- (4) 課題曲 (時間) … 輝きの時 (約 1 分 34 秒)
- (5) 演技内容 … バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う
ルーティーン構成
 - ① 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワーク とバトンをブレンドし構成する

3. 審査内容

(1) 内容

① コレオグラフィ

- ・バトンとダンスワークの組み合わせ / 音楽に合った構成・振り付け / チェンジオブペース / フロアの使い方・ステージング

② バトンとダンスのブレンド

- ・バトンのバラエティー・ディフィカルティー / ダンスワークのバラエティー・ディフィカルティー / バトンとダンスのコンビネーション / シリーズのディフィカルティー / オリジナリティー

(2) 実施

① テクニック

- ・バトン・ボディの正確さ・明確さ / 動きの熟練度・質 / リズム・タイミング / 音楽との関わり・調和 / ボディコントロール

② パフォーマンス & エクスプレッション

- ・ショーマンシップ・エンターテインメント性 / 自信

(3) ペナルティ ※ ペナルティ 審査員の結果が最終判定となります。

① ドロップ 1 本につき 0.1 点減点

② 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点 全転倒 1 回につき 0.2 点減点

③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点

(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

関 東 オ ー プ ン の 部

1. 出場資格

- (1) 参加者は、2015 年 11 月 27 日(金)現在、一般社団法人日本バトン協会に 2015 年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) 参加者は、参加申込書を期日 2015 年 11 月 27 日(金)必着にて事務局に送ること。
- (3) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、2015 年 11 月 27 日(金)までに振り込むこと。
- (4) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会 2015 年度ワッペンを着装すること。
- (5) 全日本選手権予選の部と重複エントリーができる。

2. 種目・部門・年齢に関する規定

- (1) 種目は以下の通りとする。

- ① コンパルソリー
- ② ショートプログラム
- ③ フリースタイル個人
- ④ フリースタイルペア
- ⑤ フリースタイルチーム

- (2) 部門・年齢及び性別に関する規定

年齢及び性別は次の通りとし、2016 年 12 月 31 日までに繰り上がる年齢を示す。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| ①女子ジュニア部門 —— 12 歳～16 歳 | ②女子シニア部門 —— 17 歳以上 |
| ③男子ジュニア部門 —— 12 歳～16 歳 | ④男子シニア部門 —— 17 歳以上 |

3. 演技順に関する規定

- (1) 大会実行委員会にて抽選により決定する

4. 審査に関する規定

- (1) 審査員・審判員の人数ならびに役割は大会実行委員会で決定する。
- (2) 準決勝・決勝は行わず、点数のみとする。

5. 音楽に関する規定

- (1) ショートプログラム

女子 Into The Splendid World (華麗なる世界へ) 1 分 21 秒

男子 Challenging Into The Future (未来への挑戦) 1 分 19 秒

- (2) フリースタイル個人・フリースタイルペア

自由曲 ジュニア: 曲 / 1 分 30 秒～2 分

シニア : 曲 / 2 分

- (3) フリースタイルチーム

自由曲 / 3 分～3 分 30 秒

(※全日本の実施要項を参照する)

6. バトン及びコスチュームに関する規定

- (1) コンパルソリー・ショートプログラム共通

- ① 髪飾りは不可。
- ② コスチュームについては、女子はレオタード。男子は上着とパンツの長いもの、ジャンプスーツ可。

ベルト可。男女共、飾りは不可。

③ 肌色のタイツを履いても良い。足首までのソックスは可。

④ 靴の色は自由とする。

(2) フリースタイル個人・フリースタイルペア共通

① 髪飾りは可。（但し、飾りは完全に髪についていなければならない。帽子の着用は禁止）

② コスチュームの色・デザインは自由。

女性

ア) ワンピースのレオタード

イ) ワンピースのレオタードにスカートがついた物

ウ) ワンピースのレオタードにズボン／パンツがついた物 又はユニタード（オールタイツ）

男性

エ) ロングパンツ

オ) ハーフパンツ

(3) フリースタイルチーム

① 髪飾りは個人種目・ペア種目と同様。

② コスチュームは個人種目・ペア種目のア) ～オ)の中から2種類を選ぶことができる。

● 男女混合の場合：女性はア) イ) ウ)の中から、男性はエ) オ)の中から1つずつ

● 女子のみの場合：ア) イ) ウ)の中から2つ

● 男子のみの場合：エ) オ)の2つ

7. 順位及び表彰に関する規定

(1) 順位は付けない。

(2) 表彰は行わない。

8. 著作権について

フリースタイル個人・フリースタイルペア・フリースタイルチーム共通

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。

音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できません

(1) 音楽著作権使用許諾の申請

使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要です。

① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接版權を持っている出版元に音楽使用許諾を行ってください。

② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合がありますので注意してください。

③ 自作曲の場合は、適用除外となります。

尚、著作権は著作者の死後50年を経ると消滅する事が原則ですが、著作者の著作権の有無はJASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接お問い合わせ下さい。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事があります。）

大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は団体の責任の下に処理して頂きますのでご承知おき下さい。

(2) 大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要です。

ア) 条件なしで許諾された

- 版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付

イ) 条件ありで許諾された (無料)

- 元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

ウ) 条件ありで許諾された (有料)

- 版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等 (コピー可) を添付すること

エ) 許諾の必要がない (自作曲等)

- 書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「版權を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出してください。

- 版權所有の正式団体名
- 住所
- 電話番号／メールアドレス
- 担当者名
- 許諾に関する対応をされた期日

* 著作権に関する書類 (添付書類を含む) の提出は事前郵送です。

録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書を記入して 2015年11月27日までに送付のこと

コンパルソリー

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1 名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン 1 本
- (3) 演技スペース … 横 9 m × 縦 7.5 m の広さを目安とする
- (4) 演技曲 … 無し (MC によりスタート合図がある)

ショートプログラムと同時に行うため、ショートプログラムの課題曲が流れ、終了した時点から静かなピアノ曲が流れる

- (5) 入退場について … 原則として、演技者は、名前をアナウンスされてから指定された順路で演技スペースに入り、退場すること (係員の指示に従う)

(6) 規定演技内容

コンパルソリー (15 種類) は次の通りとする

- No. 1 右手バーティカルフィンガー
- No. 2 左手バーティカルフィンガー
- No. 3 右手水平フィンガー
- No. 4 左手水平フィンガー
- No. 5 右手フィッシュテール
- No. 6 左手フィッシュテール
- No. 7 4 エルボーレイアウトロール
- No. 8 2 1/2 フラットバックネックロール
- No. 9 2 スピン左手キャッチ
- No.10 左手バックハンドトス 1 スピン～右手バックハンドキャッチ
- No.11 1 スピンブラインドキャッチ
- No.12 1 1/2 右スピン～右手バックキャッチ
- No.13 左手水平 2 スピン～右手クラブ
- No.14 右手水平 1 スピン～右手バックハンドキャッチ
- No.15 左手水平 右 1 スピン～バックキャッチ

上記 15 種類のうち 8 種類の A 又は B セット、どちらか一方の演技を行う (1 月上旬 HP にて発表)

A セット — No.1. 4. 6. 8. 9. 11. 14. 15

B セット — No.2. 3. 5. 7. 10. 12. 13. 14

※ 演技開始の合図は、MC が番号を表示し “レディー ビギン” のアナウンス後開始する。

2. 審査内容

- (1) 技術 — 正確さ/明確さ
- (2) ボディワーク — 正確さ/明確さ

ショートプログラム

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン1本
- (3) 演技スペース … 横9m×縦7.5mの広さを目安とする。
- (4) 課題曲(時間) … 女子 Into the Splendid World (華麗なる世界へ) 約1分21秒
男子 Challenging Into the Future (未来への挑戦) 約1分19秒
- (5) 入退場について … 原則として、演技者は、名前をアナウンスされてから指定された行程で演技スペースに入り、退場すること
- (6) 規定演技

① 必須エレメント

- I. トラベリングコンプレックス – グランジュテ
- II. 1スピンプラインドキャッチ
- III. 4エルボーレイアウトロール
- IV. 2 1/2フラットバックネックロール
- V. 左手水平右1スピン～バックキャッチ
- VI. コンタクトマテリアル (24拍)
- VII. ステーションナリーコンプレックス – リバースイリュージョン
- VIII. 2スピン左手キャッチ

② アクセサリーマテリアル

(各エレメントの合間に行われるつなぎの動作であり、それらは以下の限定がある)

- I. コンタクトマテリアルモードのトワール
(フリップ、スウィング、ラップ、フルハンド、フィンガー、デッドスティック)
- II. ハンドロール及びシングルエレメントロールは行って良い
- III. ボディ/ダンスの動作
- IV. 規定されたアクロバティック動作
(カートウィール、イリュージョン、ウォークオーバー 片手/両手・前方/後方、フロアロール等)
空中アクロバティックや倒立は許可されていない

2. 審査内容

(1) 必須エレメント

- ① バトンとボディの正確さ
- ② バトンとボディの明確さ

(2) コンポジション

- ① 音楽との調和
- ② 効果的なデザイン

(3) パフォーマンス

- ① 表現力 ※コンパルソリーとショートプログラムは同時にスタートする
ショートプログラム課題曲が終了した時点から、静かなピアノ曲が流れる

フリースタイル個人

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン1本
- (3) 演技スペース … 横18m×縦15mの広さを目安とし、中央に十文字印を明示する
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用の仕方等により得点を加味することがある
- (4) 演技曲（時間） … 自由曲
フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、CDに録音し、当日音響席へ持参すること。
CDには、種目・部門及び参加者名を記入しておくこと。演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。
曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より、最終音までとする。音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1秒以内）を入れても良いが、計時には含めない。
ジュニア部門は、1分30秒以上2分以内（過不足10秒可）とする
シニア部門は、2分以上2分30秒以内（過不足10秒可）とする
- (5) 入退場について … 原則として、演技者は、名前をアナウンスされてから審査員より見て左側より入場し、ポジション取りを行い演技を始め、演技終了後審査員より見て、右側より退場すること。但し会場によりその限りではない。入退場は、曲（音楽）無しで行うこと

2. 審査内容

- (1) 技術
 - ① テクニック
 - ② スピード
 - ③ 3モード（エアーリアル・ロール・コンタクトマテリアル）のバラエティー・ディフィカルティー
 - ④ ボディワークのバラエティー・ディフィカルティー
 - ⑤ ディフィカルティー
 - ⑥ クリアネス&シュアネス
- (2) 芸術
 - ① ジェネラルコンテンツ
 - ② ビジュアルミュージカルティー
 - ③ 空間の利用度
 - ④ チェンジオブペース
 - ⑤ スキルの要求度
 - ⑥ 演技の優秀さ
 - ⑦ 正確さ
 - ⑧ エンターテインメントの価値／プロフェッショナルリズム

フリースタイルペア

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 2名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン2本（各1本）
- (3) 演技スペース … 横2.5m×縦1.5mの広さを目安とし、中央に十文字印を明示する
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用の仕方等により得点を加味することがある
- (4) 演技曲（時間） … 自由曲
フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、CDに録音し、当日音響席へ持参すること。
CDには、種目・部門及び参加者名を記入しておくこと。演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。
曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より、最終音までとする。音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1秒以内）を入れても良いが、計時には含めない。
ジュニア部門は、1分30秒以上2分以内（過不足10秒可）とする。
シニア部門は、2分以上2分30秒以内（過不足10秒可）とする
- (5) 入退場について … 原則として、演技者は、名前をアナウンスされてから審査員より見て、左側より入場し、ポジション取りを行い演技を始め、演技終了後審査員より見て、右側より退場すること。但し会場によりその限りではない。入退場は、曲（音楽）無しで行うこと

2. 審査内容

- (1) 内容
 - ① バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
 - ② エクスチェンジ
 - ③ 移動しながらのバトントワーリング
 - ④ 両手使い
- (2) 実施
 - ① 滑らかさと流れ
 - ② 音楽との関わりでの速さ
 - ③ ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
 - ④ バトンとボディの正確な技術
 - ⑤ ペアワーク
- (3) 全体的効果
 - ① 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
 - ② 時間と空間の利用
 - ③ ステージング
 - ④ 一貫性と論理的な展開
 - ⑤ エンターテインメントの価値
 - ⑥ 表情と身仕舞い
 - ⑦ プロフェッショナリズム（リカバリー能力、ペアの責任）※性別区分無し。2人の内、年齢の上の人の部門とする

フリースタイルチーム

1. 部門に関する規定

- (1) 年齢及び性別は次の通りとし、2016年12月31日までに繰り上がる年齢を示す
12歳以上、性別区分無し
6名以上8名以内とし、2名の補欠を用意することが出来る

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 6名から8名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン6本から8本（各1本）
- (3) 演技スペース … 横25m×縦15mの広さを目安とし、中央に十文字印を明示する
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用仕方等により得点を加味することがある
- (4) 演技曲（時間） … 自由曲
フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、CDに録音し、当日音響席へ持参すること。CDには、チーム名を記入しておくこと。演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より、最終音までとする。
音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1秒以内）を入れても良いが、計時には含めない
3分以上3分30秒以内（過不足10秒可）とする
- (5) 入退場について … 原則として、演技者は、チーム名をアナウンスされてから審査員より見て、左側より入場し、ポジション取りを行い演技を始め、演技終了後審査員より見て、右側より退場すること。但し会場によりその限りではない。入退場は、曲（音楽）無しで行うこと

3. 審査内容

(1) 内容

- ① バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
- ② エクスチェンジ
- ③ 移動しながらのバトントワーリング
- ④ 両手使い

(2) 実施

- ① 滑らかさと流れ
- ② 音楽との関わりでの速さ
- ③ ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
- ④ バトンとボディの正確な技術
- ⑤ チームワーク

(3) 全体的効果

- ① 音楽の解釈とビジュアルミュージカリティ
- ② 時間と空間の利用
- ③ ステージング
- ④ 一貫性と論理的な展開
- ⑤ エンターテインメントの価値
- ⑥ 表情と身仕舞い
- ⑦ プロフェッショナルリズム（リカバリー能力、チームの責任）

※ 演技中に演技者は、声を掛け合わないこと

各種申込について

1. 参加申込

- (1) 参加の希望がある団体は下記のアドレスにメールにて参加申込書のフォーマットを請求すること。
必要事項を入力して 2015 年 11 月 27 日 (金) PM5:00 迄に下記のアドレスにメール送信すること。
E メールアドレス kanto41@tbz.t-com.ne.jp (FAX 不可)

2. 参加費

- (1) 参加費は郵便局備付けの払込取扱票にて 2015 年 11 月 27 日 (金) 迄に振込むこと。
(2) 一度納入された参加費は原則として払い戻しはしない。

①団体参加費 1,000 円 (郵送料など)

②全日本選手権予選の部

③関東オープンの部

ソロトワール 6,000 円

コンパルソリー 3,000 円

トゥーバトン 6,000 円

ショートプログラム 3,000 円

スリーバトン 6,000 円

フリースタイル個人 8,000 円

ダンストワール 6,000 円

フリースタイルペア 10,000 円

ソロストラット 6,000 円

フリースタイルチーム 15,000 円

ペア 10,000 円

3. 入場券 (プログラム付)

前売り券：両日 3,500 円、 各日 2,000 円 当日券：各日 2,500 円

(当日券は状況により販売できないこともある)

※ 参加者及び引率者以外は全員入場券を必要とする。(幼児は座席を確保しなければ不要)

参加者は両日入場券不要

※参加団体が前売り券を申し込む場合は送料は不要。

4. 引率者 (参加申込後、引率者用リボンを送付)

- ・参加者 10 人まで 団体引率責任者 1 名 + 引率者 1 名
- ・参加者 11 ~ 20 人まで 団体引率責任者 1 名 + 引率者 2 名
- ・参加者 21 ~ 30 人まで 団体引率責任者 1 名 + 引率者 3 名

※ 引率者はすべて入場券を不要とし、10 人増えるごと引率者が 1 名増える。

※ 団体引率者には、プログラム 1 部進呈。

<大会事務局> ※上記 1 ~ 3 申込先

〒124-0024

東京都葛飾区新小岩 1-42-11 中屋ビル 304 号室

日本バトン協会関東支部

※質問・問い合わせは E メールにてお願い致します。

E メールアドレス kanto-bta@tbz.t-com.ne.jp

5. 課題曲CD

全日本選手権課題曲CD 1枚 2,160円

(各団体責任者は必ず購入してください。)

◆上記は一般社団法人日本バトン協会のHP「資料注文」で申し込んでください。

6. 写真撮影・ビデオ撮影について

(1) 会場内での写真・ビデオ撮影は禁止とする。

(2) 業者による記念写真、記録ビデオは個人の申し込み制とする。

※VTR撮影券の販売は不特定多数の撮影により、二次的被害を防ぐため協会として禁止されました。

今後VTR撮影券の販売は致しません。

エントリーと支部別出場割り当て枠数

●エントリーは以下の２種類に分類される

支部推薦種目（６種目）：ソロトワール、トゥーバトン、スリーバトン、ペア、
ダンストワール、ソロストラット

自由エントリー種目（５種目）：フリースタイル個人、フリースタイルペア、
フリースタイルチーム、コンパルソリー、ショートプログラム

●出場資格及び参加申込みについて

支部推薦種目：P 4 参照 [支部別出場枠数はP 2・3 参照]

自由エントリー種目：P 4、P 2 4 参照

●支部推薦種目の支部別出場割り当て枠数は下記の通りとする。

- ①支部別出場割り当て枠は前年度の支部大会出場人数の割合を元に算出する。
- ②前年度の各部門優勝者登録支部に優勝枠（枠数の下線箇所）として１枠追加する。
- ③部門ごとの自由枠はソロトワールを６枠・その他を５枠とし、開催地における支部は２枠追加する。
- ④支部大会の実情に合わせ、割り当て枠に自由枠を加算することができる。ただし、１部門２枠までの使用とする。
- ⑤※印の枠数については自由枠を１部門３枠まで使用することができる。

ソロトワール（S）		北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
女子	小学校低学年	1	1	<u>5</u>	2	1	4	2	1	5	1	23
	小学校高学年	※	1	4	2	2	3	2	※	<u>6</u>	※	20
	中学校	1	1	3	2	4	4	2	※	<u>4</u>	※	21
	高等学校	1	※	3	2	5	<u>5</u>	1	※	3	※	20
	大 学	※	※	3	※	1	<u>6</u>	※	※	1	※	11
	一 般	※	1	<u>6</u>	※	2	1	1	※	2	※	13
男子	J r	1	※	2	1	1	3	※	※	<u>5</u>	※	13
	S r	※	※	<u>3</u>	※	※	4	※	※	3	※	10
	自由枠	6	6	6	6	6	8	6	6	6	6	62
	計	10	10	35	15	22	38	14	7	35	7	193

		北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
トゥーバトン	小学校	1	※	3	<u>2</u>	1	3	1	※	3	※	14
	中学校	1	1	<u>3</u>	1	2	2	1	1	4	※	16
	高等学校	1	1	2	1	2	<u>4</u>	1	※	3	※	15
	大学・一般	1	※	<u>4</u>	※	2	3	※	※	2	※	12
	自由枠	5	5	5	5	5	7	5	5	5	5	52
(T)	計	9	7	17	9	12	19	8	6	17	5	109
スリーバトン	小学校	※	※	3	※	2	<u>4</u>	※	※	2	※	11
	中学校	※	※	3	※	3	1	1	※	<u>4</u>	※	12
	高等学校	1	※	<u>3</u>	※	3	3	1	※	2	※	13
	大学・一般	※	※	2	※	2	<u>5</u>	1	※	2	※	12
	自由枠	5	5	5	5	5	7	5	5	5	5	52
(3)	計	6	5	16	5	15	20	8	5	15	5	100
ペア	小学校	1	1	2	3	1	2	1	1	<u>4</u>	※	16
	中学校	1	1	2	1	2	<u>4</u>	2	1	2	※	16
	高等学校	1	※	<u>4</u>	2	2	2	1	※	2	※	14
	大学・一般	※	※	2	※	3	3	※	※	<u>3</u>	※	11
	自由枠	5	5	5	5	5	7	5	5	5	5	52
(P)	計	8	7	15	11	13	18	9	7	16	5	109
ソロストラット	小学校	1	1	<u>4</u>	2	1	2	1	※	3	※	15
	中学校	※	1	<u>5</u>	1	2	2	1	1	2	※	15
	高等学校	1	1	<u>4</u>	1	2	3	1	※	2	※	15
	大学・一般	※	※	5	※	2	<u>3</u>	※	※	1	※	11
	自由枠	5	5	5	5	5	7	5	5	5	5	52
(SS)	計	7	8	23	9	12	17	8	6	13	5	108
ダンスワールド	小学校	1	2	<u>3</u>	2	1	1	※	※	4	※	14
	中学校	1	1	<u>4</u>	2	1	2	1	1	3	※	16
	高等学校	1	1	<u>3</u>	2	2	2	1	※	3	※	15
	大学・一般	※	1	<u>6</u>	1	2	2	1	※	1	※	14
	自由枠	5	5	5	5	5	7	5	5	5	5	52
(D)	計	8	10	21	12	11	14	8	6	16	5	111

<郵便局払込取扱票>

※参加団体が前売り券を申し込む場合は送料は不要。

00		払込取扱票									
口座記号・番号はお間違えないよう記入してください。											
口座記号				口座番号(右詰で記入)						金額	
001308				359400							
加入者名				日本バトン協会関東支部		料金		備考			
【第41回全日本BT選手権関東支部大会参加費用】											
参加費合計 円											
団体参加費 1,000円											
【総合計】 円											
×切2015年11月27日(金)											
おなまえ											
団体名											
日 附 印											
様											
(ご連絡先電話番号)											

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001308									
加入者名	日本バトン協会関東支部									
金額										
おなまえ										
ご依頼人	様									
料金	日 附 印									
備考										

この受領証は、大切に保管してください。

00		払込取扱票									
口座記号・番号はお間違えないよう記入してください。											
口座記号				口座番号(右詰で記入)						金額	
001308				359400							
加入者名				日本バトン協会関東支部		料金		備考			
【第41回全日本BT選手権関東支部大会 前売り入場券申込書兼払込書】											
○前売り入場券(プログラム付)											
両日券 3,500円× 枚= 円											
13日券 2,000円× 枚= 円											
↑4日券 2,000円× 枚= 円											
【総合計】 円											
×切2016年1月8日(金)											
おなまえ											
団体名											
日 附 印											
様											
(ご連絡先電話番号)											

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001308									
加入者名	日本バトン協会関東支部									
金額										
おなまえ										
ご依頼人	様									
料金	日 附 印									
備考										

この受領証は、大切に保管してください。